

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年6月25日 (2015.6.25)

【公開番号】特開2014-166184(P2014-166184A)

【公開日】平成26年9月11日 (2014.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-049

【出願番号】特願2014-79784(P2014-79784)

【国際特許分類】

A 2 3 L 1/22 (2006.01)

A 2 3 L 2/60 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/22 E

A 2 3 L 2/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月12日 (2015.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ナリンジンジヒドロカルコン、モグロシド V、ラカンカ抽出物、ルブソシド、ルブス抽出物、ステビオシド、およびレバウディオシド A からなる群から選択される、少なくとも 1 種の甘味増強剤を含有する甘味増強組成物であって、

スクロース、フルクトース、グルコース、高フルクトースコーンシロップ、コーンシロップ、キシロース、アラビノース、ラムノース、エリスリトール、キシリトール、マンニトール、ソルビトール、イノシトール、アセスルファムカリウム、アスパルテム、ネオテム、スクラロース、サッカリンから選択される少なくとも 1 つの甘味料、またはこれらの組み合わせを少なくとも 0.0001% 含む甘味消費材に、

各甘味増強剤が、前記消費材において、その甘味検出閾値に近い濃度で存在するように添加され、

ここでナリンジンジヒドロカルコンについてはこの濃度は 2 ~ 60 ppm であり、ルブソシドについては 1.4 ~ 56 ppm であり、ルブス抽出物については 2 ~ 80 ppm であり、モグロシド V については 0.4 ~ 12.5 ppm であり、ラカンカ抽出物については 2 ~ 60 ppm であり、ステビオシドについては 2 ~ 60 ppm であり、およびレバウディオシド A については 1 ~ 30 ppm である、

前記甘味増強剤組成物。

【請求項 2】

ナリンジンジヒドロカルコンを甘味増強剤として含む、請求項 1 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 3】

ルブソシドまたはルブス抽出物を甘味増強剤として含む、請求項 1 または 2 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 4】

モグロシド V またはラカンカ抽出物を甘味増強剤として含む、請求項 1 または 2 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 5】

レバウディオシド A を甘味増強剤として含む、請求項 1 または 2 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 6】

ステビオシドを甘味増強剤として含む、請求項 1 または 2 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 7】

2 種類の甘味増強剤を含む、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 8】

モグロシド V、ラカンカ抽出物、ルブソシド、ルブス抽出物、レバウディオシド A およびステビオシドからなる群から選択される第 2 甘味増強剤を含む、請求項 2 に記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 9】

3 種類の甘味増強剤を含む、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 10】

ネオヘスペリジンジヒドロカルコンをさらに含み、ここで、ネオヘスペリジンジヒドロカルコンが、甘味消費材において 1 ～ 5 p p m の濃度で存在するように添加される、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 11】

甘味消費材が飲料である、請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の甘味増強剤組成物。

【請求項 12】

飲料において、ネオヘスペリジンジヒドロカルコンが 1 ～ 2 p p m の濃度で含むように添加される、請求項 10 に記載の甘味増強剤組成物。